

# 会計の基本研修

会計の基本となる財務3表の読み方、会計知識をビジネスに活かす視点や考え方を身に付ける

## 本研修の概要

会計に関する基礎知識を身に付け、実務で活用していくポイントを学ぶ研修です。会計用語、財務3表(損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書)の読み方を理解し、様々な指標から企業や店舗の経営状況を把握できるようになること、経営を安定・改善させる打ち手を考えられるようになることを目指します。会計や数字に対して苦手意識がある方でも心配ありません。いちから一つひとつ丁寧に解説していきますし、ワークを繰り返すことで少しずつ慣れていくはずですよ。

## 受講対象・人数

管理職層、中堅リーダー層、若手・新人層、内定者  
※最大で30名程度

## 所要時間

7時間程度

プログラムを若干圧縮して、午後のみ(5時間程度)の研修として開催することも可能です。お気軽にご相談ください。

## プログラム例

### 第1章 会計とは何か

### 第2章 財務3表

損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書  
ワーク/どの会社の損益計算書(P/L)かを考える  
ワーク/どの会社の貸借対照表(B/L)かを考える  
財務3表理解度確認テスト

### 第3章 財務指標のチェックポイント

儲ける力(売上高営業利益率)と財務体質(自己資本比率)  
ワーク/損益計算書(P/L)比較 どちらの会社に投資する?  
ワーク/貸借対照表(B/S)比較 どちらの会社が財務上安全?  
ワーク/興味がある会社の財務3表を読み解く

### 第4章 経営・ビジネスにおける会計

客単価を上げる方法、限界利益と固定利益、損益分岐点売上、在庫は「罪庫」、機会損失、回転率

### 第5章 会計力の高め方

財務3表比較、会社四季報の活用、WEBツールの活用、自分が利用している飲食店の分析

# 会計の基本研修

会計の基本となる財務3表の読み方、会計知識をビジネスに活かす視点や考え方を身に付ける

## コンテンツイメージ

財務3表

損益計算書(P/L)  
貸借対照表(B/S)  
キャッシュフロー計算書(C/F)

- お金の流れ、ビジネスモデルまで理解できる。
- 企業規模に関係なく、比較・分析ができる。

損益計算書(P/L)

① 売上高		
A 売上原価		
(イ) 売上総利益	① - A	
B 販売管理費		
(ロ) 営業利益	(イ) - B	
② 営業外収益		
C 営業外費用		
(ハ) 経常利益	(ロ) + ② - C	
③ 特別利益		
D 特別損失		
(ニ) 税引前当期純利益	(ハ) + ③ - D	
E 法人税 住民税及び事業税		
(ホ) 当期純利益	(ニ) - E	

5つの利益

- 売上総利益(粗利)
- 営業利益
- 経常利益
- 税引前当期純利益
- 当期純利益(純益・最終利益)

貸借対照表(B/S)

右側の残高と左側の残高は常に一致する

資産	負債
	資本

調達したお金を何に変えたか (資産側)  
調達したお金を何に変えたか (負債・資本側)

ワーク5

損益計算書(P/L)比較 どちらの会社に投資しますか？

A社		B社	
売上高	100,000,000	売上高	100,000
売上原価	70,000,000	売上原価	60,000
売上総利益	30,000,000	売上総利益	40,000
販売費及び一般管理費	29,500,000	販売費及び一般管理費	10,000
営業利益	500,000	営業利益	30,000

ワーク7

興味がある会社の財務3表を読み解く

興味のある会社のホームページでIR情報をチェック。  
財務3表から読み取れる「この会社、実はこうです!」というトピックをグループメンバーと共有しましょう。

在庫は「罪庫」

大量の在庫ができると...

- 他の商品が仕入れられない
- 倉庫代がかかる
- 管理に人手と手間がかかる